

読書活動だより

むすぶ

第48号

平成28年5月24日発行

秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班

今年度もこの紙面で、県内の様々な読書活動をご紹介します。今回は「子ども読書の日」に関連した取組を掲載しています。



「第2次秋田県読書活動推進基本計画」施行

目指せ!日本一の読書県 いつでもどこでも本に親しめる環境を

秋田県は、全国の都道府県の中で唯一「県民の読書活動の推進に関する条例」を制定し、県民の読書活動を積極的に支援してきました。この4月からスタートした「第2次秋田県読書活動推進計画」では、「家庭」「学校」「職場」「地域」など生活の場に根付いた読書活動を推進することとしています。

「第2次秋田県読書活動推進計画」の主な取組

家庭における読書活動

- ・「家族で読書」運動の提唱と普及
- ・高齢者の読書推進（シニアコーナーの充実等）
- ・読書ニーズに対応できる図書館サービス機能の向上
- ・読み聞かせにおすすめする絵本の紹介

学校・職場における読書活動

- ・子どもの発達段階に応じた読書活動支援
- ・学校図書館の活性化支援と地域開放
- ・大学図書館と県立図書館との連携強化
- ・企業内文庫など職場における読書環境の整備

地域における読書活動

- ・様々な生活シーンで読書に親しむ活動の推進
- ・読書ボランティアへの研修・資料提供等による支援
- ・「秋田県読書フェスタ」による地域のイベント広報
- ・秋田県デジタルアーカイブの利用促進

県民協働で行う読書活動

- ・「秋田県ブックリーダー」（市町村長等）の創設
- ・県民寄贈によるリサイクル文庫の普及
- ・民間企業や団体等と連携した読書活動の推進
- ・「ピリオバトル」の普及
- ・「県民読書の日」の周知と啓発事業の実施

教育庁生涯学習課の今年度の重点的な取組

学校図書館活性化支援

① 学校図書館訪問

それぞれの「市町村の子ども読書活動推進計画」に基づいて、学校における読書活動の推進が図られるよう、実態を把握するとともに課題を共有し、助言や情報提供を行います。

② 職員研修会

学校における読書活動を充実させるため、学校図書館の環境づくりや読書活動の在り方について、講義及び演習による研修を実施し、担当職員のスキルアップを図ります。

秋田県読書フェスタ

本のおもしろさや読書の楽しさを体験できる読書イベントの開催を各市町村や機関に呼びかけ、それらをまとめたパンフレットを作成して広報します。
期間：10月22日（土）～11月3日（木）

ピリオバトルと読書絵はがきコンクール

昨年度と同様に開催します。後日、ポスター・チラシでお知らせします。

学校図書館活性化支援

図書館担当者対象 基礎研修講座実施

魅力ある学校図書館づくりとその活用を図るために、司書教諭や学校司書、図書支援員の役割は重要です。今年度から、学校図書館を担当する職員を対象に、集合型研修講座を始めました。

5月12日（木）、基礎研修講座を生涯学習センターで行いました。「幼少期から読書に親しませる意義」「学校図書館の基礎」「学校教育における読書支援ポイント」についての講義終了後、次の課題が参加者から出されました。

- ・古い本の廃棄が進まない
- ・先生と支援員が情報交換する時間がとれない



参加者は13名でしたが、中身の濃い研修となりました

- ・月に数回の学校訪問では十分な効果を上げられない（何を任せたらいいのか分からない）
- ・担当者が代わっても、図書館環境や利用が変わらないような仕組みづくりが必要

能代西高 読書の祭典

ビブリオバトル&みんなで選書



6名のバトラー(上段写真)と紹介された本

5月9日(月)、「こどもの読書週間」にちなみ、県立能代西高等学校で「能代西高読書の祭典」が行われました。

まず、体育館でビブリオバトルが行われました。3年生の佐藤勢良さんと後藤久美子さんのほか、市内外から読書好きな大人たちもバトラーとして参加し、お気に入りの本について熱弁を振るいました。参加者全員の投票により、チャンプ本は、『うまい棒は、なぜうまいのか？国民的ロングセラーの秘密』(著・チームうまい棒)に決定しました。

この集会、図書委員が司会・進行するだけでなく、ディスカッションを盛り上げようと発言したり、コミカルな読書トークショーを演じたりするなど、みんなでイベントを楽しもうとする生徒たちの姿が見られました。

こうして読書意欲が喚起されたからでしょうか、その後行った学校図書館に入れたい本選びも、大いに賑わっていました。



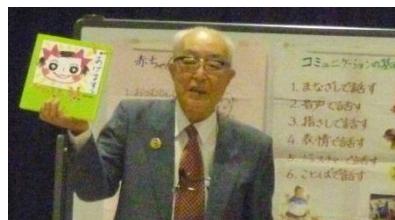
選書を楽しむ生徒たち

はちパル開館1周年＆「子ども読書の日」記念講演

八郎潟町立図書館セミナー

県子育て支援課は、「マザーズタッチ文庫」として、0歳から小学校低学年程度までを対象に、絵本を紹介しています。その選考委員である、児童文化研究家の金田昭三氏と県子ども読書支援センター職員の田丸美穂氏が講師となる図書館セミナーが、5月3日(火)、八郎潟町立図書館にて行われました。

金田氏は、テレビを消して読み聞かせをする意義、本を読むことと子どもの成長の関わり、本との出会い方など、「読書と子育て」について話をしました。また、田丸氏は、これまでの読み聞かせ経験を



具体的な事例を示しながら講演する金田氏(左)と田丸氏(右)

通して出会った子どもたちが、どのようにして絵本を楽しんでいたかについて、1冊ずつ絵本を手にしながら紹介しました。

このセミナーには、読み聞かせや絵本に関心のある22名が参加し、メモを取りながら聴き入っていました。

「子どもの読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰」報告会



受賞の喜びを語った「おはなしたんぽばの会」と小坂図書館の皆さん



平成28年度 秋田県からの文部科学大臣表彰

■優秀実践学校

羽後町立西馬音内小学校 能代市立能代南中学校
秋田県立能代支援学校

■優秀実践図書館

小坂町立小坂図書館

■優秀実践団体

おはなしたんぽばの会 (由利本荘市)

文部科学省は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館及び団体(個人)に対し、その実践を称え表彰しています。

5月13日(金)、優秀実践図書館と団体表彰の報告会を県庁第二庁舎で行いました。小坂図書館児玉館長は、「子どもたちの顔を見ていると、親の顔が自然に思い浮かぶ。利用者の顔が見える地域の図書館として今後も読書を支えたい。」と述べました。おはなしたんぽばの会の堀江代表と菅原さんは、おはなし会で用いる狐と狸の人形を巧みに操りながら、これまでの歩みや今後の活動について、即興で発表しました。

米田教育長からは、「人は読書することで言葉を覚え、本の中で様々な体験をすることができる。これからも、子どもたちの豊かな心を育む読書活動に取り組んでほしい。」と激励がありました。

秋田県教育庁生涯学習課

社会教育・読書推進班

URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

